

会議等名	平成19年度 第10回 海老名市総合計画審議会
日時	平成19年11月29日(木) 10:00~11:00
場所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：鈴木(守)会長、外村委員、飯田委員、鈴木(輝)委員、木下委員 森川委員、石井(正)委員、赤井委員、間宮委員、高林委員 石井(伸)委員、岡本委員、菅谷委員 (欠席 井上委員、西井委員) 事務局：山本企画部長、高橋企画部次長、瀬戸企画政策課長、秦主幹 内田 (傍聴者 0)
<p>1. 開 会 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会選出委員の改選による今期議会選出委員の紹介 ・ 委嘱状交付 ・ 自己紹介 全委員及び事務局 <p>2. 会長あいさつ(鈴木会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年の今頃は、第四次総合計画策定に当たり、自由意志により参加いただいた市民の方々による、地域部会でのワークショップが行われていた。 ○ 8月には、こうして作成された(案)について市長から総合計画審議会へ諮問がなされ、以降、集中的に審議を進め、10/25には答申を行ったところ。 ○ 本日は、12月議会へ上程する最終案についての報告がなされる。 ○ 第四次総合計画は、将来の海老名市のために市民・行政・総合計画審議会とともどもに議論を重ね、策定を進めてきたもの。 ○ 総合計画審議会の委員におかれは、これまで、さまざまな角度からのご議論・ご審議をいただき、感謝を申し上げます。 ○ 市にあっては、市議会における審議・議決の後、平成20年度からの「海老名市第四次総合計画」の着実な取り組みを進めていただくことを期待する。 <p>3. 議 題(進行 鈴木会長)</p> <p>(1)海老名市第四次総合計画 (案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務局説明・報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案書 (基本構想 (文書のみ)、参考資料 (基本構想 (図表入り)、基本計画) ・ 審議会答申への対応 ・ パブリックコメントへの対応 <p>《意見・質疑等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国分地区地域別計画中「現況と課題」に「福祉」の記述がない。 ⇒ 地域部会での意見を記述したものであり、市が取り組む事業の記述中においては、「福祉」を位置付けている。 ○ 地域部会、各種団体等との意見交換会など積極的な市民との協働のもと、計画策定を進めてきたことは評価する。 こうした場における男女比を知りたい。女性の声を集約することは重要である。 今後の資料は、男女比を明示するのが妥当と考える。 ⇒ 男女別の集計は行っていない。 地域によりバラツキがあったものの、全体で女性参加者は20%程度と感じる。 	

- 働く女性の声が重要である。女性が参加しやすい体制づくりを図られたい。
- 男女別に集計し、公表していくことは、却って男女差別を助長することになりかねない。
⇒ 女性の声に耳を傾ける姿勢で進めていく。
- 男女差別解消・男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組みはどのようなものか？
⇒ 審議会等への女性参加比率を30%以上としているものの、市民公募委員への応募に女性が甚だ少ないこと、団体推薦委員の選出は当該団体へ委ねていることなどから、目標達成が難しいのが実態。
- 男女別の記載であっても、特段、差別とは感じない。
女性の参加が少ないのは、何よりも、その個人が関心を持たないことが最大の要因であろう。
⇒ 満足度調査・意識調査は、無作為抽出の2000名を対象としたものであり、男女別の区分は行っていない。
女性の意見をうかがうに当たり、女性団体との意見交換も実施した。
- 女性団体との意見交換を特に行っていることから、やはり、男女の差別があるように感じる。市として、男女差別を行っているのか？
⇒ さまざまな立場の方々から、意見をいただくために実施したものである。
- 第四次総合計画の計画期間における総事業費は5,200億円とのこと。
実施計画策定の後、予算資料を提示されるよう、要望する。
- 行政運営における、満足度(10.5%)の向上・不満度(21.3%)の低減を努められたい。

4. その他

- ・ 日程確認・報告
基本構想を12月議会上程
第11回総合計画審議会 2/末
- ・ 前回会議録の確認 → HP掲載

5. 閉 会（鈴木会長）

以 上